



(1) 秋季オープンキャンパス

令和6年(2024年)開催
【来場型】
10月19日(土) PM・10月20日(日)
10月7日(月) 17時より予約受付

- ・在学生が案内するキャンパスツアー
- ・模擬講義 (10/19のみ)
- ・教職員による個別相談コーナー (10/19のみ)
- ・学生による個別相談コーナー (10/20のみ)
- ・学生による展示企画 (10/20のみ)
- ・図書館見学
- ・資料コーナー

【オンライン】
10月7日(月)～11月8日(金)

- ・人気の予備校教師による入試対策講座
- ・在学生Voice
～聞いてみよう！在学生の本音

※詳細は大学HPをご確認ください。

(2) 学習院大学の一般選抜

3方式の活用で受験機会が拡大—

- 【コア試験】
- 全学部全学科で実施
 - 試験科目は3科目
 - いずれの学科も募集人員が最も多い
- 【プラス試験】

○コア試験日以外に、もう1日ある日程。他学部のコア試験日に試験問題を共用して行う(一部例外あり)

- 試験科目は基本3科目(2科目の学科あり)
- 【大学入学共通テスト利用入学者選抜】
- 大学入学共通テストの成績のみで合否判定
- 試験科目は学部・学科で異なるため注意

▼Check: 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度の評価は?

Web出願時に、「受験生本人に関する内容」を100字以上500字以内で入力する(例: 本学への志望動機、今までに行った調査・研究、印象に残った本、ボランティア活動など)。記載内容は入学後の学びをサポートするためのもので、合否には影響しない。また、調査書は合否判定に使用しない。

英語で専門科目(社会科学)を学ぶカリキュラム——国際社会科学部

1 英語科目で英語力を高めつつ、日本語で社会科学の基礎を学ぶ 18歳	2 英語科目ではCLIL(クリル)*の手法で学ぶ専門科目も段階的に英語で学ぶ 19歳	3 社会科学を全て英語で学び、演習で課題解決力を育む 20歳	4 集大成として卒業論文を書き上げる 21歳
英語 4技能(読む・書く・話す・聞く)を高める English Communication Academic Skills Presentation Self-Directed Learning	社会科学の内容を関連させて運用力を高める Economics in the World (フリッジ科目A) Issues in the World (フリッジ科目B) Globalization and Business Social Diversity	継続的に英語力を高め、議論、レポートに活用できる英語力を養う Group Project Business Communication Critical Reading CLIL Seminars	Oral Fluency Area Studies Independent Studies
社会科学(講義) 日本語で社会科学の基礎を学ぶ 社会学 マクロ経済学 中国経済論 ミクロ経済学 アジア経済論 会計学 国際開発論 マーケティング 社会科学のためのデータ分析	社会科学を段階的にやさしい英語で学ぶ International Economics (A) The Economic Development of Japan (B) 地域研究の手法 Law and Economics 世界の貧困問題 Modern Chinese Economy Economic Development	社会科学を全て英語で学ぶ Corporate Finance and Law Case Study Methods International Migration Global Marketing International Human Resource Management Politics and Economy in Southeast Asia Education and Economic Development in Africa	
社会科学(演習) 課題を発見する力を学ぶ 入門演習		課題解決策を考え議論する 専門演習	卒業論文の執筆 卒業論文・卒業演習
海外研修 留学前の準備 海外研修I	全員が4週間以上の海外留学を経験		留学後のキャリア形成 海外研修II

* CLIL(クリル) … Content and Language Integrated Learning の略。英語の授業で、専門科目の知識を使って学ぶ手法。
* フリッジ科目 … 英語での専門科目につなげる英語科目のこと。AとBがそれぞれ対になっている科目の例。



1847年に京都御所日ノ御門前に開講された公家の教育機関、学習院を起源とする学習院大学。人文科学・社会科学・自然科学にわたる5学部17学科が「目白の杜」に集い、学生と教員がコミュニティの一員として対等に議論し、同じ興味を追究するのびやかな校風を一貫して守り続けています。

高い研究力に裏打ちされた専門性、ワンキャンパスに全学科が集う環境を活かした学際性の両面から、分野と分野をつなぎ、共創をリードする“T型人材”を育てます。また就職の強さにも定評があり、多彩なキャリア支援を展開。「面接対策セミナー」は先輩・後輩の強い絆に支えられた特色あるプログラムです。

学習院大学

〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1 学長室広報センター TEL 03-5992-1008 <https://www.univ.gakushuin.ac.jp/>

目白の杜の〈オール・イン・ワンキャンパス〉で最先端の知に触れ、主体的に学ぶ存分に「やりたい」と向き合う4年間

全学部がワンキャンパスに集結 教授陣は各分野の第一人者

歴史と文化の香る街、JR山手線目白駅から徒歩でわずか30秒の位置にある学習院大学。その緑豊かで広大なキャンパスは、都心にありながら約18万平方メートルの広さを有し、由緒ある建造物や史跡が最先端の研究棟や教室棟と美しく調和しています。全学部、全学年がひとつのキャンパスに集い、教授や学生同士に近い距離感も大きな特長です。教壇に立つのは、「その分野の第一人者」として評価され、数多くの著名論文や受賞経験を持つ教授陣です。少人数教育のもと、最先端の知に触れることができる教育を行っています。

ハイレベルな学識・経験をもつ教員たちによる一人ひとりに目が届く指導と、学部や学年を超えて多様な友人と学び合う経験が、すぐれた分析力・思考力と表現力、そして確かな行動力を育みます。また、同じキャンパスで4年間をともに過ごすアットホームな学び舎は、さまざま

な挑戦を後押しし、生涯の友人や恩師を得られる理想的な環境です。

「学びのハブ」東1号館

学部・学年を超えた多様な交流を通して、学際的な視点で自然と身につくワンキャンパスの特長をさらに押し拡げる拠点となる東1号館は、学本人の視野をぐっと広げる「学びのハブ」機能を重視。アクティブラーニングスペースを備えた大学図書館のほか、オープンな空間デザインにコミュニケーション・学習支援機能を盛り込み、学習環境の更なる進化を実現します。

人文、社会、自然科学を網羅した充実の「学び」

「法学部」では法学科と政治学科の多彩な科目を相互に広く履修することができます。法学科では国家公務員1種試験や法科大学院進学を念頭に置いた「演習」科目などを開講。また、最短5年で司法試験を受験し、合格を目指す法曹コースも設置しています。一方、政治学科では、大学院との連携で、学部入学から5年間で修士号を取得できる「特別選抜コース」(FT course)を設置しています。

「経済学部」では、現代社会において解決を迫られているさまざまな問題に対して経済学・経営学の立場から多面的にアプローチ。専門分野に特化した独自の英語教育や、簿記検定の合格を目標とした資格系の科目など、実社会で役立つ講義も豊富です。

また、一流の研究者にして一流の教育者が揃う「文学部」では、豊かな教養と知性を磨くことを目的に、8つの学科を設置。基礎から先端領域まで体系的に学べるカリキュラムが生まれ、演習を通して深い考察力とプレゼンテーション能力を身につけます。

「理学部」は学生数に対する教員の数が極めて多いのが特徴です。物理、化学、生命科学科では豊富な実

用意しています。

2024年(令和6年)3月には5期生が卒業。学部の理念を実社会で体現し始めています。

「全学共通科目」や「副専攻制度」で分野を横断して学ぶ

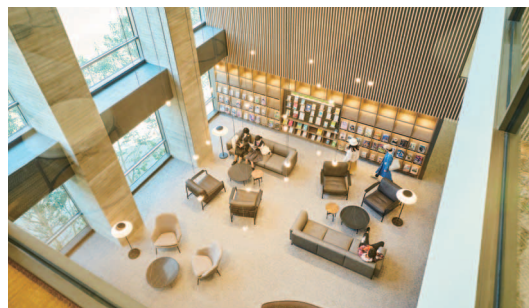
学習院大学では、学生の多様な興味に対応するため、他学部・他学科の分野も学習できる「基礎教養科目」群を開設しています。所属学部・学科にかかわらず、自由な選択で他分野の最新の知見に触れられるほか、「キャリア・デザインⅠ」「Ⅱ」「Ⅲ」「海外フィールド研修Ⅰ」「Ⅱ」など自分と世界のかかわり方を考える科目も。更に「生命社会学」「宇宙利用論」といった、学習院ならではの文理融合科目で、インベシジョンへのまなざしを育てます。

2023年度から開始した「副専攻制度」はデータサイエンス・日本語教師養成・ジェンダースタディーズの現代に不可欠の3コースで、学部の専門に加えて、自身の興味に応じて強みを伸ばせます。

さらに、近隣5大学(学習院・学習院女子・早稲田・立教・日本女子)連携による単位互換制度「iCampus」も展開。大学の枠も超えて学ぶことができます。

究極の就職支援プログラム「メンター」

「就職に強い大学」としても定評



東1号館

があり、内定率は97.9%(2024年3月時点)。そこには、「キャリアセンター」が一人ひとりの学生と向き合い独自に展開する、きめ細かいサポート体制があります。新入生を対象としたキャリアアップセミナーに始まり、就職セミナーではワークシヨップを重視した議論型の講座を多く実施。「自ら考える力」「伝える力」「聴く力」を養います。就職支援プログラムは年間を通して100以上にのぼります。

特筆すべきは、「メンター」こと「面接対策セミナー」。30年以上の歴史を持つ伝統行事で、社会で活躍するOB・OG講師と内定が決まった4年生サポーター計260名が、就活を目前に控えた3年生に、仕事観を考えるきっかけを創り、自己分析から面接を勝ち抜く心構えまでを伝授します。先輩から後輩へ、脈々と受け継がれてきた取り組みが、質の高い就職実績に結実しています。

